

平成28年度

東オホーツクシーニックバイウェイ 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 東オホーツクシーニックバイウエイルート	報告者: 東オホーツクシーニックバイウエイルート 代表 高谷 弘志	報告年月日: 2017/3/30
----------------------------	-----------------------------------	------------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H28					総括	
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号		
景観づくり	オホーツク海・斜里岳・知床連山・田園風景を美しく見せる (美しい沿道の保全・啓蒙)	小清水原生花園、以久科原生花園の保全 (ネナシカズラの除去等)						地域の取り組みとして根づいて いると感じる。また、観光関係 者、沿道住民の積極的な参画 など、地域に密着した活動構成 と運用体制についても構築され たと考えられる。 今後も、良好な沿道景観の形 成をめざし、積極的活動を継続 していくためにも、ルート内にお ける類似した活動も多く見受け られることから、活動団体間の 連絡等を綿密に行いながら、こ れらの活動を連携させることを 念頭において取り組みを行って いきたい。「美しい沿道の保全・ 啓蒙」の方針を十分満たしてい るものと考えられる。	
		沿道の一斉清掃活動の実施	平成28年度網走湖クリーン 作戦	(一社)網走市観光協会	平成28年4月23日	約340人 ・主催者8名 ・一般参加332 名			
			美しい景観保全のための清 掃事業「道路清掃・春のご みゼロ運動」	清里町商工会	平成27年5月14日	161名 ・主催者9名 ・一般参加152 名			
		沿道の植栽活動の実施	きよさと花みどりフェスタ 2016	清里町花と緑と交流のま ちづくり委員会	平成28年6月1日 ～ 平成28年9月30日	約300名 ・主催者15名 ・一般参加285 名			
			ウトロ沿道に花を植えよう	しれとこウトロ・フォーラム 21	平成28年6月12日	80名 ・主催者10名 ・一般参加70名			
			ガードレールの雪かきボランティア	ガードレールの雪かきボラン ティア	しれとこウトロ・フォーラム 27	平成29年2月4日	90名 ・主催者10名 ・一般参加80名		
		鮮明な四季の色彩を見せる (花の沿道の創出・連携や植物群生の保全)	網走湖周辺の水芭蕉の保全活動	-	-	-	-	事業予算等が少なかったこと から、個別による団体活動が中 心となった。 今後は、活動方針の見直しを 図るとともに資金をあまり必要 とせずに実現できる取り組みの 実施、支援金システムによる活 動支援を行ってきたい。	
			花を見る木道づくりの推進	美幌みどりの村で「桜祭り」	桜の名所を創る会	平成28年5月12日	30名 ・主催者9名 ・一般参加21名		
			東オホーツク花カレンダーの作成	-	-	-	-		
			東オホーツク花シンポジウムの実施	-	-	-	-		
		ビューポイントを再発見・創出する	景観探しツアーの実施	-	-	-	-	各方針別の活動内容につい て、今年度はあまり活動が行 われていない状況であるが、 ガードレールの除雪実施につ いては、オホーツク海の良好な 景観を観ることができるため大 変好評である。費用がかかるこ とではないが、人的な力を必要 とするため、今後は、他機関と の連携を図りつつ継続的に実 施したい。また、景観写真の更 新時期に来ているため、今後 は積極的に撮影・ストックを 行っていきたい。	
				東オホーツクフォトコンテストの実施	-	-	-		
				ビューポイントの再発見及び創出とビューポイント マップづくり	-	-	-		-
				ビューポイントパーキングの拡充と保全	ガードレールの雪かきボラン ティア	しれとこウトロ・フォーラム 21	平成29年2月4日		90名 ・主催者10名 ・一般参加80名
			シーニックデッキの維持管理	シーニックデッキの維持管 理	清里町商工会、NPO法人 きよさと観光協会、上斜里 フラワーロード推進協議 会、清里町花と緑と交流 のまちづくり委員会	平成28年4～6月	15名 ・主催者15名		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 東オホーツクシーニックバイウエイルート	報告者: 東オホーツクシーニックバイウエイルート 代表 高谷 弘志	報告年月日: 2017/3/30
----------------------------	-----------------------------------	------------------

		H28					
地域づくり	農・水・林・地域文化資源の発掘と連携	地域資源の洗い出しマップの作成とバス発掘ツアーの実施	シーニックマップVOL.8の作成	東オホーツクシーニックバイウエイ連携会議	平成28年5月	—	地元食材を使った「朝市食堂（感動朝市）」は、土・日に行われる模擬セリや海産物・農産物が格安で提供される即売会など、観光客だけでなく地元市民にも人気のイベントである。どのイベントにおいても、参加者なども多いことから、継続した活動と連携を積極的に行っていきたい。 地元野菜やご当地産品の販売などが盛んに行われ、東オホーツクの食の資源を活かす活動が定着しつつあるように考える。
		シーニックマルシェ in 網走	東オホーツクシーニックバイウエイ連携会議	平成28年9月10日	約300名 ・主催者20名 ・一般参加280名		
		シーニックマルシェ in 斜里	東オホーツクシーニックバイウエイ連携会議	平成28年9月17日	約430名 ・主催者30名 ・一般参加400名		
		シーニックマルシェ in 清里	東オホーツクシーニックバイウエイ連携会議	平成28年9月11日	約300名 ・主催者20名 ・一般参加280名		
		—	—	—	—		
		網走感動朝市	(一社)網走市観光協会	平成28年7月17日 ～ 平成28年9月19日	約8,000人 ・主催者30名 ・一般参加8,970人		
		—	—	—	—		
		知床S-1自慢まつりINウトロ2016	NPO法人知床斜里町観光協会	平成28年5月15日	約800名 ・主催者8名 ・一般参加792名		
		先住民族フォーラムの実施	—	—	—		
		植林事業等の実施	—	—	—		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 東オホーツクシーニックバイウエイルート	報告者: 東オホーツクシーニックバイウエイルート 代表 高谷 弘志	報告年月日: 2017/3/30
----------------------------	-----------------------------------	------------------

		H28					
楽しみの創出(東オホーツク文化・ライフの追求)	温泉情報マップの作成	シーニックマップVOL.7の作成	東オホーツクシーニックバイウエイ連携会議	平成28年5月	—		各方針別の内容が特定な内容が多く、ランドフォント北海道in清里以外は、活動がほとんど行えない状況であった。今後は、活動方針の見直しを図るとともに資金をあまり必要とせず実現できる取り組みの実施、支援金システムによる活動支援を行ってきたい。
	文化施設等との連携による文化発信	道の駅スタンプラリー	東オホーツクシーニックバイウエイ連携会議	平成28年6月1日 ～ 平成28年10月30日			
	フットパスづくり	—	—	—	—		
	オホーツクバーボンの研究	—	—	—	—		
	外国人交流の実施と誘致	—	—	—	—		
	オホーツクのオリジナル食メニューの研究	—	—	—	—		
	ランドフォント北海道の開催	第5回ランドフォント北海道in清里	ランドフォント北海道in清里実行委員会(主催)特定非営利活動法人きよさと観光協会(主管)	平成28年7月2日 ～ 平成28年7月3日	150名 ・主催者50名 ・一般参加100名		
地域連携による地域情報の発信	活動団体向けニューズペーパーの発行	—	—	—	—		ホームページなどで紹介できるような取り組みが多く、各エリアの地域情報や観光情報などを発信することができた。特に方針の内容とは別になるが、メーリングリストなどを活用して随時活動情報などの発信も行われていることから一定の成果が得られたものと考えられる。
	HPの創出と各町観光情報とのリンク	HPの維持・更新	東オホーツクシーニックバイウエイ連携会議	通年	—		
	東オホーツクシーニックバイウエイ活動報告会	—	—	—	—		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 東オホーツクシーニックバイウエイルート	報告者: 東オホーツクシーニックバイウエイルート 代表 高谷 弘志	報告年月日: 2017/3/30
----------------------------	-----------------------------------	------------------

		H28				
風を感じさせるマグネットポイントの創出	シーニックデッキの創出	ウトロポケットパーク	しれとこウトロ・フォーラム 21	平成28年5月上旬～12月 末	約1,000名 ・主催者10名 ・一般参加990 名	シーニックデッキの設置は昨年度同様の9箇所となった。今後も継続的に実施を行っていきたい。
		あばしりフロックス公園	東オホーツクシーニックバイウエイ連携会議	平成28年7月上旬～10月 中旬	約1,000名 ・主催者8名 ・一般参加992 名	
		メルヘンの丘(女満別)	東オホーツクシーニックバイウエイ連携会議	平成28年4月下旬～11月 末頃	約8,000名 ・主催者8名 ・一般参加 7,992名	
		季風クラブ(ウトロ)	東オホーツクシーニックバイウエイ連携会議	通年	約1,000名 ・主催者8名 ・一般参加992 名	
		コスモスロード(上斜里)	東オホーツクシーニックバイウエイ連携会議	平成28年4月下旬～11月 末頃	約5,000名 ・主催者8名 ・一般参加 4,992名	
		コミット(水元町)	東オホーツクシーニックバイウエイ連携会議	平成28年4月上旬～11月 末頃	約2,000名 ・主催者8名 ・一般参加1992 名	
		斜里岳山小屋清岳荘	東オホーツクシーニックバイウエイ連携会議	平成28年6月中旬～11月 中旬	約1,000名 ・主催者8名 ・一般参加992 名	
		メーメーベーカー	東オホーツクシーニックバイウエイ連携会議	平成28年9月上旬～	約1,000名 ・主催者8名 ・一般参加992 名	
		小清水リリーパーク	東オホーツクシーニックバイウエイ連携会議	平成28年7月中旬～10月 中旬	約2,000名 ・主催者8名 ・一般参加1992 名	
		—	—	—	—	
		—	—	—	—	
		—	—	—	—	
流水茶屋、湖畔茶屋、山の茶屋の創出	—	—	—	—		
サケ・サクラマスを見れる拠点の創出や清掃	—	—	—	—		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 東オホーツクシーニックバイウエイルート	報告者: 東オホーツクシーニックバイウエイルート 代表 高谷 弘志	報告年月日: 2017/3/30
----------------------------	-----------------------------------	------------------

		H28						
観光振興	各地毎の滞在メニューの創出・連携	東オホーツクウォーキングルートの選定とフットパスづくり	あばしりガイドウォーク・ツアー	(一社)網走市観光協会	通年	80名 ・主催者8名 ・一般参加72名	新たな観光体験型のメニューとなりえる活動など、今後の観光振興に期待の持てる取り組みが行われているので、今後の継続した活動と連携を積極的に図っていきたい。	
			-	-	-	-		
			みどりのウォーキング	清里町花と緑と交流のまちづくり委員会	平成28年5月31日	60名 ・主催者10名 ・一般参加50名		
			ホーストレッキングルートの選定	-	-	-		-
			-	-	-	-		-
			-	-	-	-		-
			神の子池かんじきウォーキング	東オホーツクガイド協会	平成29年2月12日	約100名 ・主催者6名 ・一般参加94名		
			エコツアーの連携や自然探索ツアーの実施	-	-	-		-
			流氷ウォーク	NPO法人知床ナチュラルリスト協会	平成29年2月1日～3月31日	約500名 ・主催者8名 ・一般参加492名		
			-	-	-	-		-
		知床ファンタジア2016	NPO法人知床斜里町観光協会、斜里町商工会	平成29年1月30日～2月28日	約40,000名 ・主催者8名 ・一般参加: 39,992名			
		-	-	-	-	-		
	東オホーツク型観光の研究	馬やバルーン景観の研究	-	-	-	-	今年度もマルシェの開催に併せ、無料の電動アシスト自転車貸し出しコーナーを併設し、立ち寄った観光客に対して近郊の隠れた地域資源を巡る自転車観光ルートの提示と参加を促した。アンケート調査を実施し、「寄り道」に対する観光客のニーズ、本取り組みの課題、効果を把握した。	
		東オホーツクトラベルの研究	電動アシストサイクルレンタルによる域内観光動向の把握	東オホーツクシーニックバイウエイ連携会議	平成28年7月～平成29年2月	約50名 ・主催者5名 ・一般参加45名		
東オホーツク観光塾の創出		-	-	-	-			
東オホーツクエリアガイドの育成と仕組みづくり		あばしりガイドウォーク・ツアー	(一社)網走市観光協会	通年	80名 ・主催者8名 ・一般参加72名			

東オホーツクシーニックバイウェイ

例) TOKACHI Scenic Byway

活動名：「シーニックマルシェ」in網走、斜里、清里

【概要】シーニックデッキの周知徹底のため、通常設置している数カ所から人の多く集まる箇所（道の駅3箇所）にデッキを集約し、『シーニック・マルシェ』を開催。地元でとれた野菜や果物、地域特産品などの販売とともに、東オホーツクシーニックバイウェイ、オホーツクEV推進協議会の取り組みを紹介するパネル展示を行った。

【日時・場所】

- ・9月10日(土)：道の駅流水街道網走 参加者：300人
- ・9月17日(日)：道の駅うとろ・シリエトク 参加者：430人
- ・9月11日(日)：道の駅パパスランドさつつる 参加者：350人

【主催】東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議

【参加団体】網走市観光協会、小清水町観光協会、東藻琴観光協会、清里町商工会、きよさと観光協会、上斜里フラワーロード推進協議会、清里町花と緑と交流のまちづくり委員会、知床斜里町観光協会



左より網走、清里、ウトロ

(パネル展示の様子)→

東オホーツクシーニックバイウェイ

例) TOKACHI Scenic Byway

活動名：『』

- 【概要】 東オホーツクの魅力を多くの方に広めるため「美しい景観・美味しい店・癒しの温泉」情報を発信し、東オホーツクのファンづくりを目指すマップの更新（最新情報への更新）を行った。
- 【内容】 東オホーツク地域の広域的な情報をマップで紹介
（各エリアのシーニックポイント・情報拠点・景観の良いお店・シーニックデッキ、お勧めのお店、天然温泉の紹介
- 【配布時期】 5月
- 【配布部数】 10,000部
- 【配布場所】 情報拠点、道の駅、観光案内所など



おすすめ温泉



おすすめの店



地図面

東オホーツクシーニックバイウェイ

例) TOKACHI Scenic Byway

活動名：ガードレールの雪かきボランティア

- 【概要】 ルート内の回遊性向上、ルートへの認知度向上の目的から、ルート内7道の駅を対象としたスタンプラリーを実施した。アンケート（1,100人）結果からは今まで知らなかった地域情報を得ることができた、集めるのに丁度よい数等の好評の感触を得た。
- 【期間】 6月1日～10月30日
- 【実施場所】 東オホーツクシーニックバイウェイエリア内自治体7道の駅
- 【主催】 東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議
- 【協力】：斜里建設（株）、（株）間組、（株）西村組、（株）そうけん、勇・西村・堀松JV
- 【参加人数】：1,100人（内当選者18人）
- 【商品】：清涼飲料水1箱×2名、7道の駅特産品詰め合わせ×2名、7道の駅それぞれの特産品×14名



表面



裏面

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:東オホーツクシーニックバイウエイルート	報告者:網走開発建設部	報告年月:2017/3/30
---------------------------	-------------	----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成28年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	オホーツク海・斜里岳・知床連山・田園風景を美しく見せる (美しい沿道の保全・啓蒙)	平成27年度網走湖クリーン作戦への参加	平成28年4月23日	(一社)網走市観光協会	観光シーズン到来を迎えるにあたり、GWが始まる前に道東観光の拠点網走の玄関口である網走湖沿いの呼人探鳥遊歩道の入口(ミズバショウ群生地)から大曲の駐車場(サイクリングロード入口)までの清掃を行った。本活動には約350人の市民が参加し、網走市役所及び網走開発建設部の職員も清掃に参加した。	これらの活動の多くは、年を経るにつれて、地域イベントとして地元住民等に認知されてきたように感じる。今後とも当部を含めた行政機関の関係職員による積極的な参加体制を構築していきたい。	1
		美しい景観保全のための清掃事業「道路清掃・春のごみゼロ運動」	平成28年5月14日	清里町商工会	東オホーツクSBW活動団体の連携強化及び景観保全への意識啓蒙を目的として、清里町で参加している活動団体(自治体や女性団体など)を中心とした町民とともに、清里町役場の職員も参加し、町内の中心路線である道道摩周湖斜里線(上斜里～札弦)の沿道清掃と空き缶拾いを行った。		2
		ガードレールの雪かきボランティア	平成29年2月4日	しれとこウトロ・フォーラム21	冬季のオホーツク海流氷の良好な景観を走行中の車両から楽しめるようにするため、斜里町及び網走開発建設部の関係職員も参加して、ガードレールの除雪を行った。		3
	鮮やかな四季の色彩を見せる (花の沿道の創出・連携や植物群生の保全)	ウトロ沿道に花を植えよう	平成28年6月12日	しれとこウトロ・フォーラム21	網走開発建設部によるVSP(ボランティア・サポート・プログラム)の一環として、SBW活動団体「しれとこウトロフォーラム21」の主催により、道の駅「うとろ・シリエトク」周辺の一般国道334号沿線上での植栽活動が行われた。本取組は今年度で9回目を迎え、当日は天候にも恵まれ約90人が参加した。なお、花苗等については、網走開発建設部が提供した。		4
	ビューポイントを再発見・創出する	「流水展望ひろば」設置への協力	平成29年2月5日～3月12日	網走開発建設部外	地域協働の一環として、雄大な流水景観などを楽しむことができる流水展望広場を期間限定で斜里町日の出地区に設置した。網走開発建設部では、チラシ作成で周知の協力を行った。		5
地域	農・水・林・地域文化資源の発掘と連携	シーニックパネル展の実施	年4回開催	網走開発建設部	観光PRの一環として道の駅はなやか小清水(小清水町)、オホーツク総合振興局1階ホール(網走市)、斜里町公民館知床ゆめホール(網走市)、「まちなか交流プラザ」(網走市)でシーニックバイウエイパネル展を実施した。	行政機関として観光PRについても積極的に支援していきたい。	6
	地域連携による地域情報の発信	東オホーツク・知床エリア「ヒヤリ・ハットマップ」の作成	年2回発行	網走開発建設部	道路利用者に対する車両走行時の注意喚起を促すことを目的に、東オホーツク・知床エリアの「路線連絡会議」構成団体による取組として、当該エリア内の「ヒヤリ・ハットマップ」を作成し、SBWルート内の道の駅や女満別空港付近のレンタカー窓口、観光施設等での配布を行った。なお、「路線連絡会議」構成団体には、東オホーツクSBWの行政連絡会議も参加しており、網走開発建設部が中心となって、「ヒヤリ・ハットマップ」を作成した。	これらの取組は、道路利用者に対する注意喚起等を促すものであるが、回数を毎に地元における認知度が上がっていると思われるので、次年度以降も継続して行うと共に、近年増加している外国人を対象とした外国語版の作成を行っていきたい。	7
観光							